

研究種目：基盤研究（C）
 研究期間：2007～2010
 課題番号：19530696
 研究課題名（和文） 『教育修身研究』誌に見る戦時下「文検」修身科の歴史的 성격に関する研究
 研究課題名（英文） The historical character of the state examination for secondary school teachers of "Shushin-ka" during wartime through the analysis of the magazine "Kyoiku-Shushin Kenkyu"
 研究代表者
 船寄 俊雄（FUNAKI TOSHIO）
 神戸大学・大学院人間発達環境学研究科・教授
 研究者番号：40181432

研究代表者の専門分野：社会科学

科研費の分科・細目：教育学・教育史

キーワード：文検修身科、『教育修身研究』、吉田静致、深作安文、宇野哲人、友枝高彦

1. 研究計画の概要

本研究は、「文検」修身科の歴史的 성격、とりわけ 15 年戦争下のそれを、『教育修身研究』という雑誌（1931 年創刊・1944 年廃刊）の分析を通して明らかにすることを目的とする。

次の五つの課題の分析を行う。

- (1) 『教育修身研究』に関する基礎的データの整理。
- (2) 『教育修身研究』掲載の受験（合格）体験記による受験生に関する分析。
- (3) 「文検」修身科の試験問題の分析。
- (4) 「文検」修身科の試験委員の分析。
- (5) 師範学校、中学校、高等女学校における修身教科書の収集と分析。

以上の五つの課題の分析を通して、次の 3 点の事柄について考える。

(1) 15 年戦争下において、「文検」修身科の歴史的 성격が、それ以前の時期と比べてどのように変化したのか。時局の大きな変化が、「文検」修身科の試験問題にどのように反映したのか。

(2) 15 年戦争下において、修身科の中等教員が求められた教養の内容は、それ以前の時期と比べてどのように変化したのか。

(3) 「半ば学問、半ば教育」といわれる旧制中学校の性格が、修身教育においてどのように顕現したのか。教育勅語に集約された理念を修身教育として教授した小学校と、ま

がりなりに修身科の背後にある倫理学や哲学の「研究」成果を教育した大学の間には置かれた中学校で教育された修身科の内容は、どのような性格を持っていたのか。

2. 研究の進捗状況

予期せぬ事情から研究の進展がなかなか難しくなったため、ともかく資料の収集と整理に務めた。現状は下記のとおり。

- (1) 『教育修身研究』誌の書誌情報の整理。

(2) 『教育修身研究』『文検世界』『文検受験生』から受験（合格）体験記の収集・整理を行った。取り出した情報は、① 受験の動機、② 受験生のキャリア、③ 受験勉強の内容、④ 合格後の進路等である。

- (3) 以下の作業を行った。

- ① 試験委員の著作目録の作成および著作の収集。
- ② 受験（合格）体験記のうち、試験問題の分析に関連する記事の収集・整理。
- ③ 『教育修身研究』の特色である座談会の言説の収集・整理。
- ④ 同じく同誌の特色である模擬試験欄の収集・分析。
- ⑤ 受験の手引き書・参考書の収集・整理。
- ⑥ 師範学校、中学校、高等女学校の修身教科書の収集・整理。

- (4) 中等諸学校における修身教育の実践

に関する資料の収集。

3. 現在までの達成度

④遅れている。

科研のスタートと同時に所属する研究科から教育研究評議員、および副研究科長に選出され、研究科の管理運営の仕事に忙殺され、科研に割くことのできる時間が大幅に減少したため。

4. 今後の研究の推進方策

上記のような理由から資料の収集に重点を置いて研究を進めてきた。したがって考察が不十分であるので急ぎその点を深めるとともに、残余期間でそれが十分に遂行できない場合にも次の研究のステップを考えて資料集の作成だけは成し遂げたい。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

なし。